

# 外国人と共に学ぶ防災講座を開催

本町に住む外国人は年々増加し、現在は人口の2%以上、400人を超える外国人が暮らしています。「多文化共生社会」に向けて、生命と財産を守るための外国人と学ぶ防災講座を開催しました。



ごみ袋を利用したカッパ作り。雨風を防ぎ体温を保つのに役立ちます。

10月から11月にかけて外国人と共に学ぶ防災講座を全4回開催し、日本人29人、外国人22人が参加しました。日本人に向けた回では、災害時に外国人が困ることや、文化・慣習による認識の違い、外国人でも分かりやすい「やさしい日本語」を学習。外国人に向けた回では、本町の災害と防災を学び、救急時の電話のかけ方や消火体験をしました。最終回は外国人と日本人が合同で学習。ごみ袋を使ったカッパ作りや防災の講話を受けました。また、ハザードマップを使って自宅付近で起こりやすい災害をグループで話し合い、これまでの講座で学んできたことをお互いに確認しました。



大雨が降った場合を想定して、準備や行動をお互いに書き出しました。

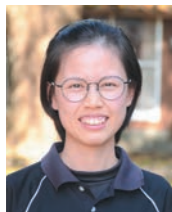
## 防災を共に学ぶ

## 地域や職場でも考えて

毎年のように各地で起こる災害に対し、日本人と外国人が安心して生活ができるよう、日頃からお互いに防災意識を高めることが求められています。町では、外国人の視点に立った避難所運営や災害情報の発信に取り組み、外国人にも日本人と同じような支援ができる防災体制を目指します。地域や職場でも一緒に防災を考えてみませんか。

- お問い合わせ先
  - ・多文化共生に関すること 企画政策課 企画政策係 (内線2224)
  - ・防災に関すること 総務課 危機管理係 (内線2215)

### interview



ベトナム出身  
ファン・ティ・アインさん

#### 学んだことを友達にも教えてあげたい

日本に来て2年半ぐらいいちます。去年の台風のときには家が揺れて怖かったです。講座を聴いて、避難所のことが大切だと思いました。住んでいる湯田の避難所は地震のときは使えるけど、台風や大雨のときは鶴田の方に避難しないといけないことがよく分かりました。勉強したことを日本にいるベトナム人の友達にも教えてあげたいです。



### interview



虎居地区公民館長  
吉井 達也 さん

#### 普段からの地域での交流が大切

虎居地区には50人弱ほどの外国人が住んでいます。講座を受けて、通訳のいない災害時に外国人にどう伝えるかが重要だと感じました。そのためには地域での普段の交流が一番大切だと思います。この講座も一度だけでなく、継続して開催してほしいですね。外国人に優しい住み良い町と知ってもらい、人口増や発展につながればと思います。



※この講座は自治体国際化協会の助成金を受けて鹿児島県国際交流協会が主催しました。

## ▶かごしまエコファンド制度の取組状況

かごしまエコファンド制度とは、事業所などが自ら削減できない二酸化炭素排出量分を、間伐などの森林整備による削減活動に投資することにより埋め合わせをする仕組みです。

本町では平成22年度と23年度に23.45ha、平成28年度に23.31haの町有林の間伐を実施。516トンの二酸化炭素吸収量の認証を受け、次の事業者の一部を購入していただきました。販売代金は、物産館の室内灯や外灯、防犯灯のLED化など地球温暖化対策に活用します。

- ・株式会社前田組
- ・株式会社末吉土木
- ・株式会社伊東組
- ・野村建設工業株式会社
- ・株式会社門田建設
- ・株式会社長崎組

### 【お問い合わせ先】

耕地林業課 林業振興係 (内線 2432)



## ▶県へ北薩横断道路など整備を要望

10月22日、鹿児島県庁で北薩空港幹線道路整備促進期成会による要望活動を藤本徳昭副知事などに対して行いました。

北薩横断道路の整備促進については、全線の早期整備と供用推進、主要地方道である葛輪瀬戸線の早期整備の2点について強く要望。県からは「早期整備に向けた工事や調査、用地買収などを進めている。今後も早期完成に向け、引き続き整備に努めていきたい」と回答がありました。

同日、国道328号整備促進期成会の要望活動も行い、下船木地区から宮之城屋地町頭地区までの4車線化や、今年度事業化された小山田バイパスの早期整備を要望しました。



藤本副知事(中央)に対し要望書を手渡しました

## ▶台湾からマスク1,600枚寄贈

観音滝リゾートを運営している「株式会社やさしいまち」との友好交流の縁で、台湾から本町へ令和3年7月豪雨災害への支援としてマスク1,600枚が寄贈されました。日本からの新型コロナワクチン提供のお礼も込められ、外箱には「日台友好 日本ありがとう!」の文字が書かれています。マスクは町内の小中学校、高校に配布しました。



児童生徒の感染予防に役立てられる台湾からのマスク

## ▶大和フロンティアと立地協定を締結

10月26日、大和フロンティア株式会社の倉内工業団地への工場新設に伴う立地協定調印式と包括連携協定調印式が行われました。同社は宮崎県で竹を原料とした笹サイレージを開発・販売。笹サイレージは、竹粉末に乳酸菌などを混ぜて発酵させたもので、家畜用飼料や土壌改良材として使用されます。肉質などの改善や野菜の生産性向上、サツマイモの基腐病対策にも効果が見られ注目を集めています。また、原料となる竹を無償で伐採・搬出し製造を行うことで、放置竹林の整備にも期待されます。田中浩一郎社長は「竹林面積が宮崎県の3倍といわれる鹿児島県の竹を有効活用し、農業振興の活性化に貢献したいです」と話しました。



県の立ち合いのもと、田中社長(中央)と協定を結びました